

道

～道はいい 道は大好きだ 道を歩いていこう～

アニメ「ほのぼの」のセリフです。

各学年「道徳の授業」紹介！

先月の道徳通信にて、東中学校全体および各学年の重点内容項目を紹介させていただきました。そして今回は、1学期に実際に行っているローテーション授業の中から、各学年の重点内容項目を取り扱っている授業（題材）について、「振り返りシート」に書かれた授業後の生徒のコメントも含めてご紹介させていただきます。今の道徳科教科書でどんな内容が扱われているのかを知っていただきながら、1年生、2年生、3年生と、学年が上がっていくにつれて少しずつ変化（成長）してく振り返りの内容についても読み比べていただけたらと思います。また、実際の授業の様子について、各ご家庭で話題にし、お子さんとの会話を楽しんでいただけたら幸いです。

＜1年生＞

(内容項目「相互理解・寛容」)

題材名「自分だけ『余り』になってしまう…」



教材内容

・クラス替えの際に親しい友人と離れてしまい、学習活動等で2人組を作ったりする時に「一人だけ余ってしまったとき恥ずかしく、寂しい気持ちになる」という中学2年生である好美さんの悩みに、小説家・重松清さんが応える形で文章を書いている教材となっている。重松さんは中学生のとき好美さんと同じような体験をし、そのときの友達の行動を見て「負けた感」を覚えたことや、高校生のとき「一人であることの気まずさ」を体験したことをもとに、「ひとり」は不安定な状態であることを共感的に述べている。しかし、現実には「ひとり」になってしまう場合もあると述べつつ、「みんなで『余りの一人』を分かち合うようになればいいのに」と提言している。重松さんの助言は、中学生に対する人間関係づくりにかかわる生き方指導となっている。

この物語に触れてみて、「経験あるな～」と感じている人が多い様子です。発表やグループでの話し合い活動を通して、お互いの意見を伝え合っています。学年重点内容項目である“人との関わり”を大切にするためには何か必要か、感じてほしいです。

(授業を受けた生徒の振り返りより)

- ・僕は一人になることがすごく嫌なのでとても良くわかりました。「ぼっちだ～」とか言われてどうも思わないけど、本当の「ぼっち」になるのは嫌です。
- ・一人になることが寂しいと考える人がいるということに気が付いたので、声掛けをして一人にならないようにする。
- ・自分も少しこういう経験があったので、こういう友だちがいたらそばにいてあげたいなと思いました。
- ・自分は余っても「あ～余っちゃったな～」で終わるけど、すごい気にしてしまう人もいるので、考えて行動したいです。
- ・自分がそういうことはなかったけど、今回の話でみんなを認め合うことが大切だと思いました。



(裏面に続きます)

《2年生》

(内容項目「向上心・個性の伸長」)

題材名「『自分』ってなんだろう」

漫画を楽しみながらも、「自分」について振り返っていました。学年が上がり、他者からの見え方を気にする年代になるので、「ありのままの自分」を受け入れる経験と出会いが必要で。クラスメイトとの話を通して、「自分」が宝石だと思えたら嬉しいです。

教材内容

- ・自分の存在価値を自問しながら生きている「ブタ」の姿が4コマ漫画(『ブッタとシッタカブッタ』より)の中に描かれている。漫画のキャラクターからの問いかけで考えたことを、「ありのままの自分」という文章で再確認することができる。また、「他人との比較ではなく、かけがえのない自分」の存在に気付くことが期待できる教材である。

(授業を受けた生徒の振り返りより)

- ・自分が悲しむより、自分はそういう存在なんだと理解することが大事だと思った。もう一人の自分は作らずにありのままに生きられるようにしていきたいと思いました。
- ・自分で思っている自分は悪いところが多いけど、他人から見るとよいところがたくさんあることがわかりました。
- ・私は普段、2つの自分を持っていると知った。「ありのまま」の自分のときでは、家のときで、「ありもしない」自分では主に学校生活だと分かった。これから両方見せられるといい。
- ・自分が思っていたようなことが相手も一緒に、少し安心することができた。時には嘘の自分を作らなくてはならない時もあるんじゃないかなと思った。
- ・どの自分でも悪いことではないと知った。どっちも生きていくのはいいと思った。この教科書のやつを読んでみて大事だと思った。

《3年生》

(内容項目「自主・自律・自由と責任」)

題材名「私も高校生」

主人公である「私」に、受験生という自分たちの置かれている状況を重ねながら、自分のことを自分で「決めること」「やり遂げる」ことの大切さについて実感を持って考えていたようです。今の自分ときちんと向き合いつつから巣立ちへと向かってほしいです。

教材内容

- ・家庭の事情で高校への進学を断念した筆者「私」は、進学したいという思いをかなえ、通信制高校へ入学する。家事、仕事をしながら、家族や職場の同僚、高校の友人に支えられ、数々の困難を乗り越えて卒業を迎えようとしている。人間としての弱さを見せながらも誠実に取り組む「私」の姿から、主体的に生き方を考え、実行し、人間としての誇りをもつことについて理解を深めることができる。

(授業を受けた生徒の振り返りより)

- ・「周りの人のおかげでやりとげられた」ということは私の中でもあるなと思いました。私は今目標があって、でもやりとげられるのかや続けられるのかとても不安です。でも今日の授業から「自分の決めたことはしっかりやりとげる」ということの大切さを知ったので続ける様に頑張ります。
- ・生き方は生きている人の数だけあると思うし、私も私なりの人生を歩んでいきたいと思いました。また、自分で決めたことを最後までやりとげる根性がほしいなあとと思いました。
- ・自分で決めてやろうと思ったことがあるなら、それはどんな理由でもいいから、とにかく続けて、それを続ける意味や良さを見つけたらいいのかなと思いました。
- ・この人は、他の人からのフレッシュに負けず、やりたいと思うことを自分で決めて、自分でやりとげることをしていてすごいと思いました。これから受験生で、進路を決めなきゃいけないから、しっかり自分で進路を決めるために勉強など頑張りたいと思いました。